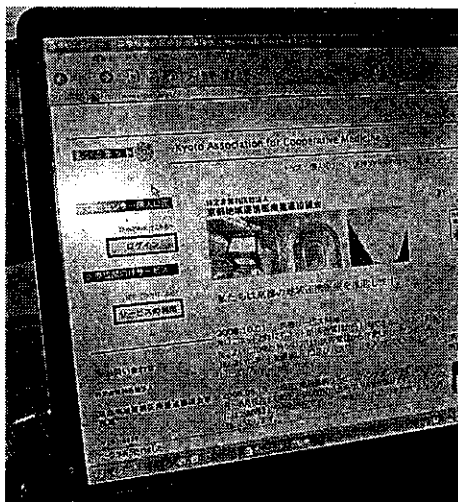


京都大学付属病院などが参加し、インターネットを通じて患者向けに医療情報の提供サービスを行っている「まいこネット」が、今月からパソコンサイトとともに、携帯電話によるサービスの提供を始めている。簡単にアクセスできるのが利点で、京大病院などではサービスの利用を呼びかけている。

まいこネットは、京大病院や府立医大などが参加す



まいこネットのパソコンサイト。携帯電話サイトの開設もPRしている

自分の医療情報 携帯電話で確認

「まいこネット」が新サービス

るNPO法人「京都地域連携医療推進協議会」(京都市上京区)が運営するサイトで、同協議会の愛称にもなっている。患者が複数の病院で診察を受けている場合に、関係病院が患者のカルテやX線写真などの医療情報にアクセスすることで、共同して治療する態勢づくりに役に立つ。

登録した患者は、診察を受けた病院から電子カルテなどの情報を同ネットに送信してもらったことが可能。京大病院は昨年7月か

ら同ネットを通じて医療情報の提供を始めており、通院患者らは同ネットのホームページにアクセスすることで、自身の診察記録を見ることが可能。現在、登録患者は約500人で、医師らを含めると約3000人。診察を受けたその日の夕方には最新の診察記録を見ることができるといい、血液検査の結果なども知ることが可能。今回の携帯電話サイトの開設は、「自宅に帰る途中などでも見たい」といった

利用側への要望にこたえるために実現。同ネットを通じて情報の提供は現在、京大病院だけでなく、提供を検討している病院はほかにもあるという。前任の熊本大学教授時代に、熊本や宮崎でも同様の医療情報ネットの設立にかかわった京大病院医療情報部長の吉原博幸教授は「携帯電話を使ってより簡単にアクセスできるようになった。患者のみなさんの利用が増えることを期待したい」としている。